



KAHF ニュースレター

No.11

2012年 3月発行

Kyoto Association of Host Families
- KAHF -

〒606-8536
京都市左京区粟田口鳥居町2-2
京都市国際交流会館3階
財団法人 京都国際文化協会内
京都ホストファミリー協会 (KAHF)

2012年度 行事予定

- ◆4月21日(土)
ケーキパーティー
(京都大学 生協吉田食堂2F)
 - ◆5月下旬
春のハイキング(場所未定)
 - ◆7月14日(土)
浴衣着付け教室(ひとまち交流館)
祇園祭船鉾参観
 - ◆10月中旬
大原バーベキューパーティー
- *****
2013年
- ◆1月19日(土)
新春親睦パーティー・バザー
(京都市国際交流会館イベントホール)
 - ◆3月中旬
総会 ファミリーの集い

年頭のことば

本年2012年の年初は、昨年東日本大震災を被り、その復興に取り組み続けていかねばならぬ新年、との特別な思いがあります。災害を被られた方々の苦難に立ち向かう毅然とした姿勢は、海外の多くの人々にも感銘を与え、世界中から暖かい励ましと支援が送られてきました。これを機に、互いに助け合う人と人とのつながり「絆」が、復興を目指す大きい流れのキーワードとなりました。

ホストファミリーと留学生諸君との、人と人とのつながりのネットワーク作りを大切にして展開してまいったKAHFの理念も、まさにその「絆」であり、20年の歴史を経て確固とした礎が築かれました。

個人的な出来事の紹介で恐縮ですが、昨年夏、ブータンのG君とネパールのSさん夫妻が拙宅をたずねて来てくれました。偶々私は仙台に行って留守だったのですが、日本留学時のときと同様 Sさんが台所で家内と一緒に作った料理で食事、談笑のひと時を過ごしたのち、一緒に働いているInternational Rice Research Instituteを案内するから是非マニラへ来て、と言い残して帰って行きました。そしてKAHFの「絆」のネットワークが、留学生OBも含む拡がりあるネットワークへと発展していく、との手ごたえを感じました。

平見松夫



寒さも少し和らぎ、会員の皆様にはご健勝の事と存じます。ニュースレターNo.11をお届けします。

2011年度の入会は7ファミリー、退会は5ファミリー、新規留学生は21ヶ国からの44名でした。KAHF発足(1984年3月)以来28年間に参加された総会員数は440ファミリー、世話をした留学生は1,700名となりました。今後とも留学生との“絆”を大切に活動してゆきたいと思っております。会員でない皆様、KAHFの活動にご興味ございましたらホームページをご覧ください。連絡をいただければ幸いです。 <http://kahf.web.fc2.com/>

2011.3.19 (土)

ファミリー総会 (洛西 ふれあい会館)

京都市洛西ふれあいの里保養研修センター「ふれあいの里」にて、H22年度の総会・ファミリーの集いを開催しました。

参加者全員での昼食の後、H22年度の会務報告とH23年度の予定(谷垣代表)および会計報告(高橋、福井)がありました。

その後、ウクライナからの留学生ナターリア・ボルトニクさんによる流暢な日本語でのお国紹介「美しいウクライナの物語 ようこそ」、続いて、塩尻かおり様のアメリカ生活の紹介「アメリカ滞在延べ4年—独身から家族4人になるまで」のお話を頂戴しました。ティータイムと懇談(KAHFの運営に関する活発な意見交換)の場も持たれ、閉会となりました。



2011.4.24 (日)

ケーキパーティー (京都大学 生協吉田食堂2F)

京都大学吉田南キャンパス・生協吉田食堂2Fで恒例の春のケーキパーティーを実施しました。

今年も、参加したファミリーは51家族、留学生は約110名の盛況でした。ホストファミリーと留学生はたくさんのお菓子や飲み物を囲み、交流を深めました。その後、留学生はくじ引きでの素敵な景品も当たり、その後はミニバザーも実施され、留学生は思い思いの品物を安く手に入れることが出来て満足してもらえたようです。

このパーティーは新年度に京都大学等に入学してきた新しい留学生にKAHFを知ってもらい、参加してもらう目的で毎年この時期に催しています。今年はこのパーティーを契機として19名の新しい留学生を迎えることができました。



2011.6.5 (日)
春のハイキング

季節はずれの台風2号のため一週間遅れとなりましたが、当日は薄曇りのハイキング日和となりました。午前11時前、京阪宇治駅前に集合。参加者は、ファミリー・留学生合わせ36名。当日は、「奇祭」の異名もある県(あがた)祭と重なり、周辺は大変混雑していました。一行は、源氏物語ミュージアムの庭を通り抜け、「早蕨(さわらび)の道」を通って世界遺産の宇治上神社へ。たまたま宇治上神社では結婚式の最中。神主の祝詞や神楽は聞こえたものの、本殿に通じる階段が通行止めのため、残念ながらこの神社のユニークな建築様式を見ることができませんでした。



2011.7.3 (日)
日本文化体験シリーズ(1)：浴衣着付け教室

日本文化体験シリーズの第一回は「ゆかた着付け教室」です。ひとまち交流館に、参加者の留学生5名とファミリー7名の12名が集いました。

着付け講師をされている掛水みさ子さんが、留学生一人一人に「着付けのコツ」を伝授してくださいました。来年も祇園祭の前に企画します。



2011.7.14 (木)
日本文化体験シリーズ(2)：祇園祭船鉾参観

2011年7月14日 KAHF 祇園祭(宵々々山)参観
今年はお天気に恵まれKAHF恒例の船鉾の参観が行われました。暑い中、留学生45名、ファミリー26名の参加がありました。浴衣を着て参加する留学生も増え京都の伝統的なお祭りを楽しみました。



2011.10.16(日)

大原バーベキューパーティー

すっかり恒例になった秋の行事としての大原でのBBQ交流会。前日の雨で心配した天気も回復し、快晴のもとファミリーと留学生合わせて90名が参加しました。

メニューは焼き肉とおにぎり、それに今年は海鮮スパゲッティ、これはホストファミリーのヤールオール様の特製でした。お腹が一杯になった後は、校庭でボール運びゲームとじゃんけんゲーム。寄贈品が沢山あったので、勝者も敗者も順番に好きな景品にありついでご機嫌でした。準備と片づけを担当、手伝っていただいた皆様、ありがとうございました。



2011.11.6(日)

京都市市民防災センター見学

今年も防災センターの見学が実施され、ファミリー・留学生合わせて11名が参加しました。

震度7の地震体験、32m/sの台風などの体験にも耐え、面白く参考になる機会でした。



留学生と共に歩んで

西村 隆治・佐紀子



留学生のお手伝いをさせていただいて、早や20年が経過しようとしていますが、あっという間に時が過ぎ行きました。思い返せばと写真を見ながら、喜怒哀楽の走馬灯が廻ります。

留学生達に、本当にお役にたったのかな？ と思いつつ、いや、待てよ。ひょっとしたら留学生を通じて多くの経験と学習をさせてもらったと考えるべきかも知れませんね。

世界は、政治的にも経済的にも社会的にも混沌とした時代の中で、試行錯誤を続けながら歩まなければなりません。人々に生きる難しさばかりを投げかけて、避けようのない苦渋を強いる。そんな厳しい状況にありながらも、他国の日本で留学生達は、夢や希望を達成すべく力強く逞しく歩んでいます。敬意を抱くと共に、彼等彼女等に少しでも貢献できれば、私たちKAHFのファミリーは、この上ない幸せを感じることが出来ますよね。留学生の頑張りには強い信念の基に、「決意と覚悟」を感じさせてくれます。この事に支えられて、私たちは活動を続けられているのだらうと思います。

父母として、兄姉として、同じ生活者として、進路や就職や結婚にまで相談事が飛び込んできます。頼りない私たちにとって、適切な助言や示唆が届けられているのかなと、ドキドキしながら歩んでいます。

学問には長けているものの、社会と接することが少ないために、悩み苦しむ留学生が増加しているように思えます。だからこそ私たちKAHFのファミリーが必要なのだと改めて自覚を深めたいと思っています。少しばかりの協力が留学生にとって心の支えになれば嬉しい限りです。

「優しい笑顔」こそが、互いにとって「宝物」です。

「安心・安全・平和」を築き、「素敵な人生」を歩んでいけるよう、まず自己研鑽が必要だと自分に言い聞かせてはおりませんが、恥ずかしながら遅々として進捗してはおりません。今後においては、留学生と共に歩む中で、「気付き」を一つでも積み上げられるよう精進したいと思います。



東日本大震災被災者支援への留学生の皆さんの熱い心

一瀬 英爾

5月12日、今春学業を終えたとき起こった東日本大震災 に大変心を痛めながら帰国したマレーシアからの留学生Lim Yi-Kang君から、ご覧頂くような大変可愛らしい絵葉書図案を添えて以下のようなメールを受け取りました。

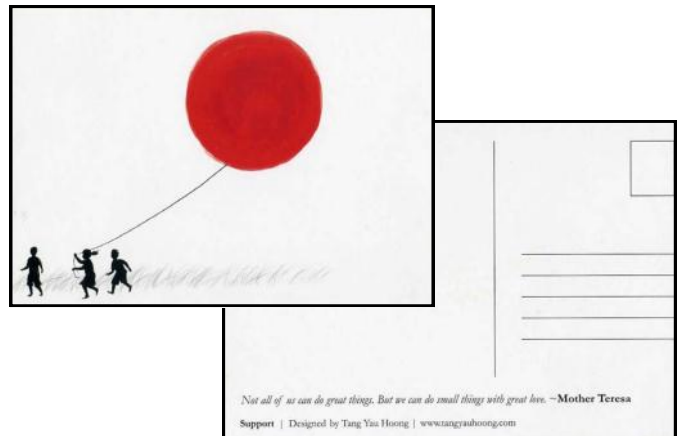


「……前段省略…… 今、震災援助のため、200枚はがきを販売しており、すべての収入は日本の赤十字社に寄付するつもりです。今日は、キャンペーンの三日目です。昨日まで、マレーシアリングット765をもらいました！はがきのデザインはマレーシアの友達(Tang Yau-Hoongさん)をやってくれました、自分は私費で印刷費を払い、パブリシティもネットのソーシャルネットワークでやっています。

ある友達は、寄付をしても、はがきが貰えません。だから、はがきを余るはず。あのはがきは、もう一枚一瀬さんのほうに送りました。ですから勿論お金が要らないです。私はTey君に200枚はがきを送りました、彼によつてはがきは日本のマレーシアコミュニティにより反響を受けているそうです。もし200枚を売り切れ場合は、20,000円を赤十字に寄付を出来ます。……中段省略……(マレーシアにいるので、文書を見てくれる人は居なくなります。変な文書があれば、ご了承下さいませ)」

Lim君、Tey君いずれもKAHFのメンバーです。小生、Tey Kuan-Chung君が200枚も捌くのは荷が重かろうと思って、少し引き受けるよと申し出たのですが、先日Tey君から留学生の間で大変好評で200枚完売したと連絡がありました。KAHFメンバーの留学生の人たちが大変協力してくださったそうです。

東日本大震災 被災者支援へのLim君の心意気そしてTey君や多くの留学生の皆さんの熱い気持ち、本当に有難く嬉しいことです。KAHFの皆さんにも是非知っていただきたく筆を執りました。



編集後記

バックナンバーを参考に、HPの文章を引用させてもらい作成しました。バリバリ現役のお姉さま方が多いKAHFですが、微力ながらも頑張っていきたいと思っております。私の後に続くM姉妹にも期待♥♥笑

西 優斐